



(公社)日本ユネスコ協会連盟

(ユネスコ憲章前文抜粋)

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない



7月1日に修復オープンしたレストハウスと地下展示室 (左)



被爆・終戦75年 ヒロシマ

二度と核兵器を使用 させてはならない

とき：8月15日午前10時
30分から11時まで
場所：広島平和記念公園
「平和の鐘」鐘楼前
主催：広島ユネスコ協会



原爆死没者慰霊碑



原爆ドーム



被爆建物・旧陸軍被服支廠



平和の鐘

世界の願い実現へ
連帯の力を!

この8月で広島、長崎への原爆投下から75年が経ちます。戦争や原爆によって亡くなられた方々を悼み、黙とうします。核兵器禁止条約は、3年前に国連で122か国が賛成して採択され、各国内において40か国が批准しました。この条約は、あと10か国以上が批准すると、実効になります。一人ひとりが、平和に向かって思いを深め、行動しましょう。

(平和・世界遺産部会長 内田一士)

*参加する方は、マスクを着用してください。37.5度以上の熱がある方、または体調のよくない方は、参加しないでください。

2020年度 広島ユネスコ協会

主な部会活動 ～地道に推進

組 織 部 会

- 1 会員の拡大と財政確立への寄与
- 2 会員の維持
広島ユネスコ協会100名体制の維持
サロン開催時や広島ユネスコ活動奨励賞受賞
団体への入会呼びかけを積極的に行う
- 3 世界寺子屋運動募金活動の推進と青年部育成
のための協賛募金検討
- 4 青年部の育成

青少年育成部会

- 1 青少年対象語学講座(広島市青少年センターと共催)

(1) 「英語でガイド in ひろしま」

(昨年度事業名 高校生英語でガイド)

日時：10月25日(日)10:00～12:30、13:00～15:00

11月1日(日)10:00～12:30、13:00～15:00

昨年度事業名「平和公園を英語でガイド」は、参加者が少数のため、「高校生英語でガイド」と統合する

参加費：1000円 ★参加費はユネスコ協会にて徴収

対象者：15歳～30歳

テキスト：基本的に講師にお任せする

内容：2020年度は平和記念公園を中心に、以後、宮島など他の観光地も加える

募集人数：30名 講師：2名

(2) 「英語でニュースを読もう!!」

(昨年度事業名 時事英語講座)

昨年度の参加人数が少数のため、リーダー育成プログラムとしての上級者コース

日時：11月8日(日)13:00～15:00

11月15日(日)13:00～15:00

11月22日(日)9:00～12:00、13:00～15:00

対象者：15歳～30歳(英検準2級程度)

参加費：1000円 ★参加費はユネスコ協会にて徴収

募集人数：20名

テキスト：基本的に講師にお任せする

内容：リーダー育成プログラム 講師：1名

2 「高校生国際理解セミナー」

(教育部会と連携、広島市青少年センターとの共催)

日時：12月20日(日)9:30～12:30

場所：広島市青少年センター

3 高校生コアアクション

(世界寺子屋運動街頭募金運動)(教育部会と連携)

日時：12月20日(日)13:30～15:00

場所：八丁堀天満屋ビル前

4 高校生&青少年ネットワーク

広島市青少年センターと青少年育成部会との共催事業参加者のうち、希望者のみのメーリングリストを作成し、広島市青少年センターと青少年育成部会(広島ユネスコ協会)の共有として、必要に応じて主催事業等を案内し、青年会員の確保、高校生のユネスコ理解と活動への積極的な参加を促す

教 育 部 会

- 1 第23回広島ユネスコ活動奨励賞事業(7月～翌年1月末)
- 2 ユネスコスクール・ESDの実施校や広島県ユネスコESD大賞等の情報の共有化
- 3 2020年度高校生国際理解セミナー事業(広島市青少年センター共催、青少年育成部会へ協力)
- 4 ユネスコ世界寺子屋運動活動
 - ・高校生によるコアアクション(青少年育成部会へ協力)
 - ・書き損じハガキ回収キャンペーン(通年)
- 5 関係機関・学校・団体との連携

文 化 部 会

- 1 ユネスコサロン
「ユネスコサロン」を通して会員の研鑽と交流を促し、ユネスコ活動の紹介の場とし、会員入会の機会としたい
「第181回ユネスコサロン」
日時、会場、講師、演題 未定
- 2 新春コンサート
新春コンサートは、2021年1月末開催予定の新春フェスタにおいて開催
ゲスト 広島少年合唱隊

国際部会

- 1 大韓民国ユネスコ大邱協会友好親善訪問団との交流
日時：11月6日(金)～9日(月)の予定で交渉中
主催：広島ユネスコ協会
内容：大韓民国ユネスコ大邱協会との友好親善と交流を深める
来広日程案は検討中
- 2 国際フェスタへの参加
日時：11月15日(日)
場所：国際会議場地下1-2階
主催：公益財団法人広島平和文化センター
- 3 国際部会内研修

平和・世界遺産部会

- 1 平和推進事業
 - (1) 「平和の鐘を鳴らそう2020」(第20回)
日時：8月15日(土) 10:30～11:00
場所：広島平和記念公園「平和の鐘」鐘楼前
 - (2) 杉並ユネスコ協会青年部のヒロシマ平和学習受入れ(第22回)
日時：2021年3月下旬
場所：広島平和記念資料館、広島平和記念公園ほか
- 2 世界遺産事業
 - (1) 「未来遺産」「産業遺産」等として、該当する見込みのものがあるときに検討する
 - (2) 原爆ドーム絵はがきを、必要に応じて贈呈する

広報部会

- 1 機関紙「ヒロシマユネスコ」の発行
年3回発行。第107号(7月)、108号(11月)、109号(翌年3月)
- 2 HP(ホームページ)の充実
写真投稿コーナー新設
HPへ新たに「写真掲載」の投稿コーナーを開設する。興味のある友人・知人にも季節の花、山、川、海などのスナップ投稿をお願いしたい
(募集詳細は本頁末)

事務局

- 1 組織の活性化
- 2 年間行事の調整と専門部会などとの連絡調整
(他団体との関係も考慮しながら)
- 3 事務処理の円滑化を図る(無駄な時間、経費の浪費をしないようにするために)
- 4 全体的な事業の見直し
- 5 主要事業の推進
- 6 記念イベントの計画
広島ユ協発足50周年となる2023年6月に向けて、実行委員会を立ち上げ、具体的な内容の検討を行う

募集案内**HPにほっとコーナー**

このコーナーは、会員(友人知人を含む)のみなさまの身近なできごとや日ごろの社会的または趣味の活動を写真で紹介し、会員の相互理解と交流促進を目的とするコーナーです。ほっとな投稿写真を心からお待ちしています。

写真をEメールで送付される場合は、200キロバイト以上の大きさで、鮮明に映っているものをお願いします。また、写真のタイトルと内容が分かるメモを添えてください。プリント写真の場合も鮮明なものをお願いします。

【投稿の宛先】

メール yujisan5902@yahoo.co.jp

郵送 岡平裕次 気付

広島ユネスコ協会HP編集室

〒732-0029 広島市東区福田三丁目14-8

<投稿写真の例>

- 活動レポート～自らが主宰またはグループに所属して活動している写真
- 身近なホットニュース～季節の描写、我が家・近所・田舎・地域の出来事、イベント参加・旅の記録などの写真

「青年部の復活に期待！」

広島ユネスコ協会長
松岡盛人



新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年3月8日のユネスコサロンと3月29日の東京・杉並ユ協青年部のヒロシマ平和学習受入れが中止となり、本年度に入っては、引き続きコロナ禍の中、止む無く書面議決による総会とさせていただきます。本年度は、予断を許さない状況に鑑み、コロナ禍の動向を見極めつつ、計画の縮小・中止を含め、慎重に検討の上、事業を推進していかなければならないと考えています。

当協会は間もなく創立50周年を迎えようとしていますが、今後を考えると、従前からの課題である次代を担う青年会員を増やしていくことが肝要です。

当時を回顧すると、当協会が開催した第1回ユネスコ青年セミナー参加者の中で私と高校教諭(当時)が中心となって20数名により青年部を立ち上げ、活動をスタートさせました。まずは、ユネスコ学習会を皮切りに、1年余りの間で、「広島を知る」講座(全6回:

広島市青少年センター)、原爆講座(全4回:同センター)ユネスコ世界の児童画展(広島市中央公民館)を開催しました。メンバーは、公務員、会社員、個人事業主、広大学院生、広大留学生、広島市内私大生等で構成し、青年部立ち上げの発起人となった私が初代青年部長を2年余り務めました。ちなみに、私の後任は現・国際部会理事の田川清さん。その後、青年部長は何人か交代し、10年位で自然消滅しました。以来、青年会員の加入は無く、数年前に、5~6人を最高に青年部の形が出来上がりつつありましたが、主体的な会合や活動に進展しないまま、今日を迎えました。

当協会の維持発展・組織の活性化を図るためにも、青年会員の増強は喫緊の課題です。青少年対象の語学講座参加者への声掛けをはじめ、私たち会員からの直接・間接的な個別紹介も是非お願いしたいと思います。青年会員が再度5~6人でも加入すれば、協会として適切にサポートし、財政支援を積極的に行っていく用意はあります。ユネスコに関心を寄せ、志を持った青年は必ずや現れると信じています。会員の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

広島ユネスコ協会 発足50年へ

～ 記憶に残る一枚の写真～

1974、仏ユネスコ青年部を 迎えて開かれた記念総会

民間ユネスコ活動の灯が消えていた広島に広島ユネスコクラブが誕生したのが1973年6月23日。それから一年後の1974年7月31日、日本ユネスコ協会連盟(日ユ協)からフランス・ユネスコ青年一行受け入れの要請があったこともあり、歓迎パーティを兼ねて、「協会」への名称変更と日ユ協加盟を決定すべく福屋百貨店大食堂において総会を開催したのです。(同11月28日正式加盟)

写真はその一コマです。経年劣化のため色褪せて不鮮明ですが、やや高齢のフランス青年がなごやかにス



ピーチをしている様子です。発足50周年を迎えようとしている広島ユネスコ協会にとっては実質的な誕生日、その後の活動を活性化させる大きな意義を持つ行事であったと思います。

(広島ユネスコ協会副会長 古田碩永)

～写真と思い出の文章をお寄せください～

会員の皆さんには、それぞれの立場から記憶に残る一枚の写真を寄せていただき、一緒に50年を振り返れば、これからの活動に元気が出てくるものと思っています。

(事務局よりお願い)

【新任人事】(敬称略)

世木田 寛子(参与)、山本 隆信(同)、
川迫 輝嗣(文化部会副部長)

【新会員紹介】(3~6月 敬称略)

池野 範男 菅 英滋 松下 勝彦

【コロナ禍で中止された協会関連行事】

第179回広島ユネスコサロン(3月)、東京杉並ユ協青年部広島学習(同)、「大邱の日」大邱マダン(広場)・朝鮮通信使再現パレード(5月)、第180回広島ユネスコサロン(7月)、ひろしま盆ダンス(8月)